

第106回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	売掛金	買掛金
仕入	繰越商品	備品	備品減価償却累計額
固定資産売却損	固定資産売却益	仕入値引	仕入割引
減価償却費	売上値引	売上割引	租税公課
未収入金	未払金	前受金	前払金
従業員立替金	所得税預り金	社会保険料預り金	繰越利益剰余金
未処理損失	資本金	資本準備金	利益準備金
未払配当金	別途積立金	法定福利費	給料
消耗品費	交通費	通信費	消耗品
未払法人税等	法人税等		

- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 株主総会において、以下のように繰越利益剰余金の処分が行われた。なお、利益準備金は、会社法上、資本準備金と合わせ資本金の4分の1に達するまで社外流出額の10分の1以上を積み立てることとされている。前年度末の資本金は¥10,000,000、資本準備金は¥1,400,000、利益準備金は¥1,000,000であった。
 - ・配当金：¥1,200,000
 - ・別途積立金：¥1,000,000
 - ・利益準備金：会社法の定める必要額
- 給料から控除した社会保険料の従業員負担分 ¥600,000を、雇用主負担分と合わせ、社会保険事務所に現金で支払った。なお、当社は、社会保険料を従業員と雇用主とで同額を負担している。
- 収入印紙 ¥10,000と郵便切手 ¥20,000を購入し、代金は現金で支払った。収入印紙と郵便切手は、両者とも支出時に費用処理する。
- 取得原価 ¥800,000、期首減価償却累計額 ¥320,000の備品を期首から半年が経過した時点で下取り価額 ¥200,000で下取りに出し、新しい備品 ¥1,200,000を購入した。新備品の購入価額と旧備品の下取り価額との差額は現金で支払った。なお、旧備品については、償却率25%の定率法によって算定した半年分の減価償却費を下取り時において計上すること。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2	繰越利益剰余金	2,300,000	未払配当金	1,200,000
			利益準備金	100,000
			別途積立金	1,000,000
3	社会保険料預り金	600,000	現金	1,200,000
	法定福利費	600,000		
4	租税公課	10,000	現金	30,000
	通信費	20,000		
5	減価償却費	60,000	備品	800,000
	備品減価償却累計額	320,000	現金	1,000,000
	固定資産売却損	220,000		
	備品	1,200,000		
別解	減価償却費	60,000	備品減価償却累計額	60,000
	備品減価償却累計額	380,000	備品	800,000
	固定資産売却損	220,000	現金	1,000,000
	備品	1,200,000		